

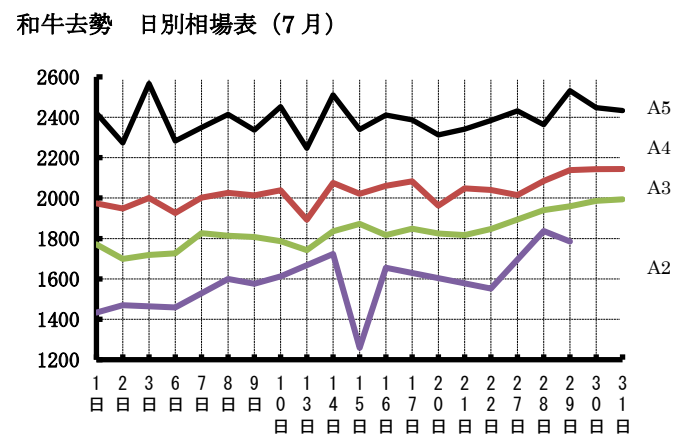
# 月刊しばうら

## 2020年8月号

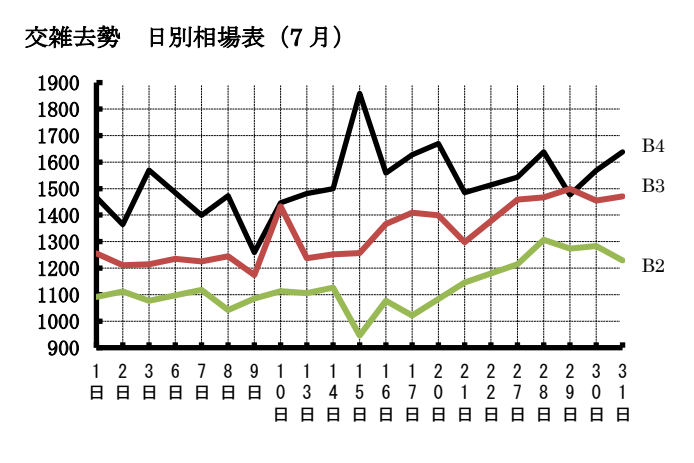
熊本をはじめ各地で甚大な被害をもたらした豪雨災害により被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます

### <7月の相場動向>

和牛去勢A5が前月比110円高の2,413円(前年同月比340円安)、A4が同163円高の2,041円(同374円安)、A3が同173円高の1,844円(同376円安)、A2が同65円高の1,570円(同396円安)となった。交雑牛去勢はB4が前月比109円高の1,511円(前年同月比275円安)、B3が同132円高の1,332円(同321円安)、B2が同97円高の1,141円(同388円安)、乳牛去勢はB2で前月比12円安の920円(前年同月比13円安)となった。7月の牛枝肉相場は、旧盆商戦などにより月の後半にかけて和牛の3、4等級ならびに交雑牛の2、3等級を中心に相場が上昇し底堅い展開となった。



A5	2,413円 (前年同月比 87.6%) (前月比 104.8%)
A4	2,041円 ( " 84.5%) ( " 108.7%)
A3	1,844円 ( " 83.1%) ( " 110.4%)
A2	1,570円 ( " 79.9%) ( " 104.3%)



B4	1,511円 (前年同月比 84.6%) (前月比 107.8%)
B3	1,332円 ( " 80.6%) ( " 111.0%)
B2	1,141円 ( " 74.6%) ( " 109.3%)

### 乳牛去勢 (月平均)

B3 上場なし  
B2 920円 (前年同月比 98.6%) (前月比 98.7%)

### <8月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した輸入通関実績による6月の牛肉輸入量は前年比7.2%増の5万719tと前年に比べ増加した。チルドは同4.0%減の2万484tとなり前月並み。フローズンは同16.5%増の3万236tで、フローズンの伸長が輸入量全体を引っ張った。農畜産業振興機構の予測による8月の牛肉輸入数量は、前年比8.1%減の4万9,200tで、チルドは同11.5%減の2万3,100t、フローズンは同4.7%減の2万6,100tとしている。新型コロナウイルスの影響による外食需要の減少、高水準にある国内在庫、米国や豪州の減産による現地価格の高騰などの要因により輸入数量が減少する見込み。

	6月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	9,895	9,836 100.6%
	米国	9,002	9,834 91.5%
	その他	1,587	1,678 94.6%
	合計	20,484	21,348 96.0%
フローズン	豪州	13,613	12,331 110.4%
	米国	10,669	8,829 120.8%
	その他	5,954	4,789 124.3%
	合計	30,236	25,949 116.5%

単位：t 出典：食肉速報

### <8月の全国出荷頭数予測>

家畜改良センターの発表による6月末現在の全国の飼養頭数は391万2,763頭(前年同月比1.2%増)となり、前月比では約4,700頭の増加となっている。黒毛和種は171万4,650頭(同2.7%増)で前月比では約6千頭増となり、交雑種は50万2,401頭(同1.8%増)で前月を約800頭下回った。ホルスタイン種は前月比で1,000頭減少し161万4,191頭となり、雄(去勢)が5.5%の減、雌は0.3%増加している。また、牛飼養施設数は5万6,468カ所(同3.7%減)と引き続き減少を続けている。

農畜産業振興機構による8月の全国出荷頭数予測は、前年比0.8%減の7万8,700頭で、品種別にみると和牛が同4.5%増の3万4,000頭、交雑種は同3.5%減の1万7,100頭、乳用種は同5.2%減の2万6,100頭としている。引き続き和牛は増加傾向、交雑種・乳用種は減少傾向となっている。東京食肉市場の8月と畜頭数は6,800頭を予定しています。

### <8月の牛枝肉相場見通し>

8月は例年であれば旧盆商戦のほか行楽需要など消費の期待できる時期ではあるが、7月以降新型コロナウイルスの陽性者数が急増したことで外食から内食へ需要がシフトするものと思われる。

お盆休み以降は消費が一服する傾向にあるため、とりわけ出荷頭数の増加が見込まれる和牛については下落傾向か。交雑牛については出荷頭数が減少傾向にあり、もちあいから弱含みで推移するものと思われる。いずれにせよ新型コロナウイルスの動向次第で先行きは不透明である。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,250~2,350	B4	1,450~1,550
A4	1,900~2,000	B3	1,300~1,400
A3	1,750~1,850	B2	1,100~1,200
A2	1,500~1,600		
乳牛去勢			
B3	1,000~1,050		
B2	900~950		

## 豚肉営業部

6月の全国と畜頭数は、前年同月比9.0%増の132万3,396頭と前年同月から増加した。また、6月の豚肉通関数量は7万9,574t(前年同月比4.3%増)と前年同月を上回り前月比では微減となった。内訳はチルドが3万2,018t(前年同月並み)、フローズンは4万7,555t(7.3%増)。

月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
6	67,048	76,246	23,332	183,952	65,290	77,257
7	74,899	85,315	21,828	192,531	76,348	76,736
8	67,745	84,982	20,615	200,018	68,891	77,385
9	68,819	78,125	20,351	197,854	69,025	80,399
10	79,112	83,940	20,128	198,840	79,247	82,954
11	77,534	82,715	21,804	191,175	75,817	90,380
12	80,884	72,264	20,806	181,469	81,783	81,970
1	80,864	72,280	21,474	187,738	80,150	66,011
2	73,425	66,987	23,077	185,042	71,714	69,683
3	79,535	67,628	25,062	185,075	77,478	67,595
4	80,239	101,568	23,124	200,821	82,085	85,822
5	71,318	79,864	20,858	214,884	73,523	65,801
6	72,535	79,522	23,208	211,865	70,031	82,541
比	108%	104%	99%	115%	107%	107%

比：最終月の前年同期比 出典：農畜産業振興機構 単位：t、%

国名	冷蔵		冷凍		前年比
	数量	前年比	数量	前年比	
アメリカ	14,584	91.2	6,158	69.3	
カナダ	15,729	103.9	12,170	118.2	
メキシコ	1,705	197.6	9,236	125.9	
			アメリカ	4,399	126.6
			カナダ	3,305	96.1
合計	32,018	100.0	47,555	107.3	

### <7月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	41,100	663	645	704
2日	62,200	671	650	627
3日	59,800	649	635	878
6日	59,900	653	639	601
7日	61,700	640	630	1,011
8日	60,500	657	629	689
9日	64,000	668	643	622
平均	58,457/日			733/日

全国と畜頭数は1日が例年通り一部で休場があったことから4万1,100頭と極端に減少したが、おおむね6万頭台前半の推移となった。相場は輸入物がひっ迫していることから国産へのシフトがあり600円台での高値推移となった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
10日	58,600	643	618	1,021
13日	59,300	645	615	750
14日	61,500	644	632	895
15日	61,700	633	615	661
16日	64,900	619	599	739
17日	61,300	634	606	985
20日	66,200	656	642	718
平均	61,928/日			824/日

枝肉相場は海の日(15日)の4連休に向けての手当により底堅い展開が続いた。東京都では16日の新型コロナウイルス感染者数が過去最高となり飲食業態を取り巻く環境は厳しい状況となり引き続き内食需要が安定した展開となった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
21日	69,300	614	597	1,130
22日	71,100	599	579	881
23日		575	557	979
27日	64,700			
28日	65,900	646	633	1,072
29日	59,500	652	642	704
30日	64,800	671	656	727
31日	62,700	671	656	1,028
平均	65,428/日			931/日

全国と畜頭数はおおむね6万5,000頭前後とそれほど増えておらず、29日には6万頭を割り込んだ。相場は連休明けの手当もあり強含みで推移し、上中価格差も10円台と締まった展開となった。

### <8月の豚枝肉相場見通し>

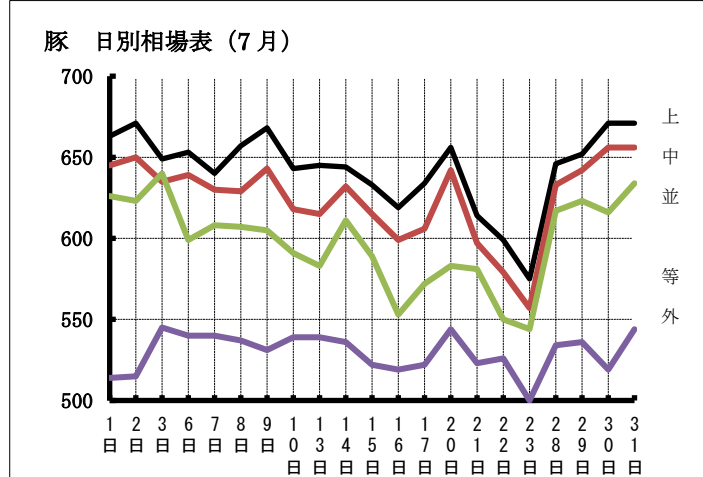
農林水産省による8月の肉豚出荷予測では127万5,000頭(前年比101%)と予測している。当市場の8月集荷予定頭数は1万5,500頭、1日あたりでは約861頭を見込んでいる。

農畜産業振興機構によると8月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万1,800t(同84.5%)、内訳はチルド輸入量が3万3,100t(同92.6%)、フローズン輸入量は3万8,700t(同78.6%)と予測。

チルド輸入量は、新型コロナウイルスの拡大に伴う北米の現地工場の操業停止により生産量が減少し現地相場が高騰したことから前年同月を大幅に下回ると予測する。なお3ヵ月平均でも、前年同期をかなり大きく下回ると予測する。フローズン輸入量もチルド同様、現地相場の高騰に加え、国内の在庫量が高い水準にあること、また、前年の輸入量が中国におけるASFの影響による先高感で多かったことから前年同月を大幅に下回ると予測する。なお3ヵ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。

8月は夏休みによる行楽需要や旧盆商戦などに向けた荷動きに期待ができるが、今年は新型コロナウイルスの影響により例年とは異なる荷動きが予想される。東京都では飲食店などの営業時間短縮要請が出される方針となり、外食業態にとって厳しい状況が続く中、引き続き量販店などの内食需要は堅調に推移することが予想される。

以上のことから当市場の上物平均価格は580円前後、中物平均価格550円前後の展開と予測する。



**東京都港区港南2-7-19**  
**東京食肉市場株式会社**  
TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127